

## 1. 子どもや車の視認性 (子どもから見える?車から見える?)

- ① 子どもの目線から、車や自転車が見えにくい
- ② 車から、子どもが見えにくい  
 例えば)電柱・標識・看板・植木  
 ・ブロック塀などの障害物がある  
 カーブ・坂道など

### 重点チェック

- しゃがんでみよう!
- ・横断歩道や出入口
  - ・右左折する車から隠れてしまう場所



## 2. 歩く場所の安全性 (安全に歩ける?)

- ③ 車道と歩く場所が区分されていない  
 例えば)縁石・ガードレール・カラー舗装などがされていない
- ④ 自転車とぶつかるリスクがある  
 例えば)子供から自転車が見えにくい場所・自転車から子どもが見えにくい場所  
 自転車が子どもの歩行スペースに入り込んでくる場所  
 (車道が狭い、店の出入口など)
- ⑤ ころびそうな場所がある  
 例えば)雨の日に滑りやすい場所、道がでこぼこしている
- ⑥ 落ちそうな場所がある  
 例えば)フタや柵のない側溝・水路など



## 3. 横断の安全性 (安全に渡れる?)

- ⑦ 横断歩道が渡りにくい状況にある  
 例えば)横断歩道が消えかけている  
 なかなか車が止まってくれない
- ⑧ 子どもが安全に待つことが難しい横断歩道がある  
 例えば)待つ場所が狭い・傾斜になっている、待つ場所がわかりにくい  
 車と待つ場所が近い、車がスピードを出しやすい場所
- ⑨ 子どもが安全に渡りにくい信号がある  
 例えば)障害物などにより、子どもの目線から信号が見にくい  
 押しボタンがわかりにくい(位置、高さなど)  
 青信号の時間が短く、渡り切れない
- ⑩ 歩道橋・地下道の昇り降りがしづらい  
 例えば)段差が大きい、幅が狭い、傾斜が急など



子どもの歩く速さで歩こう!

#### 4. 車の動きと交通状況 (どんな動きが多い?)

- ⑪ 車がスピードを出しやすい場所がある  
例えば)坂道、広くまっすぐな道、抜け道など
- ⑫ 車の右左折や、出入りが多い場所がある
- ⑬ 駐車している車や、送迎している車が多い場所がある
- ⑭ 自転車やバイクが急にでてきやすい場所がある
- ⑮ 大型車が子どものすぐ近くを通る場所がある



#### 5. 道路の環境 (明るさ・地形・表示)

- ⑯ 逆光や、夕日で信号や車が見えにくい時間帯がある
- ⑰ 暗くて周囲が見えにくい道がある
- ⑱ 坂道やカーブ区間に、横断歩道や、子どもたちが立ち止まりやすい場所がある
- ⑲ 車から見えにくい標識や、路面表示がある
- ⑳ 標識や、路面表示の意味が子どもに伝わりにくい
- ㉑ 子どもにとって判断が難しく、戸惑う場所がある  
例えば)踏切、複雑な交差点、工事中の仮歩道など



#### 6. 子どもの行動をふまえて (気が散る・飛び出しやすい場所)

- ㉒ 子どもが気が散る・飛び出しやすい場所がある  
例えば)興味を引くもの(公園・自動販売機など)がある  
大きな音がする場所(音楽が流れている場所、交通量の多い道など)がある
- ㉓ 車道にはみ出しやすい場所がある  
例えば)歩く場所に、植木や電柱・看板の柱、水たまりなど障害物がある  
広がって歩いたり、追い抜いたりしている
- ㉔ 近道・裏道・寄り道しやすい場所がある
- ㉕ 遊びたくなる場所がある  
例えば)段差、入りやすいすき間など



#### 7. 緊急時の対応 (いざという時は?)

- ㉖ 見守りが届きにくい場所がある
- ㉗ 防犯上の死角や、暗がり、人通りの少ない場所がある

『子ども110番の家』など  
事前に確認しておくで安心

